

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスセンター あした				公表日	令和8年 3月 2日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・活動の内容によっては、協会内にある多目的室（食堂）や他事業所の部屋を借りて活動する時もある。	・基準はクリアしていると思われるがもう少し広いと良いと思う。 ・今年度は、欠席者が多かったので普段より余裕があった。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・送迎の支援員にも情報を提供しながら支援法を伝えている。	・配置数の基準は満たしているが専門的な職員がいない。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・個々の特徴に合わせて、学びやすい空間作りを行っている。 ・バリアフリーに対応している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・清潔感のある環境になっている。	・主な利用者は中高生が多いので、メインの教室は少し手狭に感じる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・協会内にある多目的室（食堂）や他事業所の部屋を使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	・日々振り返りを行っており、改善策の提案を言い合えるようにしている。	・もっと良いアイデアを提案できるように児童発達支援センター等との連携を図ってきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・令和7年10月に実施。 共有して改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・業務前後にミーティング等で会議を開き、改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8		・外部評価は受けていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	・熊本市主催の研修や協会内でも研修を行っている。	・今年度は、パート職員にも研修を受講。（強度行動障害）	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	・ホームページや情報誌などで公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・こどもの希望を聞き行動観察と保護者への聞き取りを行い、関係機関との連携を行いながら計画を立てている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・業務前後のミーティングや適宜に会議を開き、改善につなげている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・業務前後にミーティング等で振り返りを行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・ミーティング等でも確認している。	・毎日、チェックシートを用いて行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・こどもの希望を聞き行動観察と保護者への聞き取りを行い、関係機関との連携を行いながら計画を立てている。 個々に対して課題と支援内容を記載している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・職員のアイデアを取り入れ、準備等を分担することでチームで作り上げるようにしています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・こどもたちの意見も取り入れながら固定化しないようにしています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・個別活動と集団活動における課題を見つけ、個別支援計画に反映させています。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・その日の支援内容や役割分担について確認して利用者の状況や変化を職員全員が把握できるようにしています。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・振り返りを行いながら支援記録に記入して情報の共有を図っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・支援記録を毎日作成しモニタリング等に役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・半年に一回のモニタリングを実施し見直しをしています。その他、適宜、連絡や面談を行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	0	・ガイドラインに沿った内容で、支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・行事や活動の希望を聞いたり、宿題以外の勉強に対して目標を立てることを促しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・体制は整っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	・迎えの受け渡し時に情報を共有しています。必要に応じて学校とも確認を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	・事業所自体、小学4年生からの受け入れになっている。対象となる方がいません。	・今後、対象となる子供を受け入れる際には情報共有等を行い、相互理解に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	・学校や関係機関と担当者会議を行い、情報を提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3	・児童発達部会や熊放会の定例会で会議や研修があり参加しており困難事例や必要事項を共有しています。	・地域の児童発達支援センターと連携がとれていないので関係を作っていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		・地域のこどもと活動する機会はない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	・可能な限り参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・主に連絡ノートと送迎の時に伝えあい、状況によっては電話連絡と適宜、面談等を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	8		・子どもの発達や子育てについて学習を行えるよう計画を立てていきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時に運営規定や支援プログラム、利用者負担額等について説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・日々の連絡帳と送迎時にコミュニケーションを取り確認に努めています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	・同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	3	・行事によっては、参加をお誘いしているが参加して頂く方が少ない。	・父母の会、自体作っていませんので機会を設けて行っていきたいです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	・ホームページは年に4回 ・情報誌は年に2回	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・重要事項説明書時に説明をしています。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・主に連絡ノートと送迎の時に伝えあっている。状況によっては電話連絡と適宜、面談等を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	8	・協会で「まつり」を開催。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・各マニュアルは策定しており、研修も行っていきます。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・研修や会議を行い訓練も実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・薬等の必要な子どもの保護者より、状況を共有し確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	8	・対象となる方がいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・協会内に安全衛生委員会がある。全体で研修を行ったり報告をしています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・契約時、面談時に非常時の対応について説明を行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・協会内に安全衛生委員会がある。全体で研修を行ったり報告をしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・虐待防止委員会を設置し、規定を作成している。保護者に対しては「重要事項説明書」に記載し、各々に説明を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	・行動が危険な時や他害に繋がりそうな時のみ、制止することを共有しています。		